

見てみよう！歴史災害記録と旬のあいち

September 2020 vol.77

September						
S	M	T	W	T	F	S
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

◆ あし原公園

所在地：名古屋市西区あし原町

交通：名鉄犬山線「中小田井」駅 西約1km

平成12(2000)年の東海豪雨は、歴史災害と呼ぶにはまだ記憶に新しいものですが、今年は20年の節目の年になります。9月11日、本州に停滞していた秋雨前線が大型で非常に強い勢力の台風14号に刺激され、温かく湿った空気が断続的に流入したことにより、いわゆる線状降水帯に覆われた東海地方では、特に、愛知県西部から三重県北中部で局地的な豪雨となり、名古屋市では、11日の降水量が平年の9月の月降水量の2倍となる428mmに及び、12日までの2日間の合計雨量は年間降雨量の3分の1となる567mmに達しました。また、東海市でも、日最大1時間降水量(114mm)や日降水量(492mm)が観測史上第1位を記録しています。

愛知県内では、名古屋市西区あし原町内で、100mにわたり新川左岸の堤防が決壊し、西区の西南部と下流側の西枇杷島町全域が水没しました。新川はもともと、庄内川の氾濫による周辺地域の浸水被害を軽減するために開削された川で、庄内川が増水した場合には、西区大野木付近に設けられた洗堰(裏面参照)により、庄内川の水を受ける構造になっていました。東海豪雨の際には、想定を超える水量から、新川への負荷が増大し、浸水被害の拡大につながったとも言われています。また、名古屋市及び周辺地域で広範囲にわたり内水被害が発生し、県全体で7万戸近くが床上・床下浸水となり、7名の方が尊い命を落としました。さらに、東海道新幹線は三河安城駅から岐阜羽島駅で不通

となり、5万人を超える乗客が車内に取り残され一夜を過ごすこととなったほか、名古屋市内の地下鉄も、野並駅のコンコースやホームで30cm以上浸水するなど、公共交通機関も大きな影響を受け、道路も冠水により通行止めとなるなど、名古屋市とその周辺の都市機能が麻痺する事態となっています。

東海豪雨により被災した庄内川、新川では「河川激甚災害対策特別緊急事業」が採択され、5年間で集中的に堤防の強化や河道の掘削、洗堰の改修、橋梁の改築・補強などが行われました。緊急事業の完了後には、東海豪雨をきっかけとして制定された「特定都市河川浸水被害対策法」の適用を受け、河川の整備と貯留対策の組み合わせにより、浸水被害の防止が進められています。

新川の決壊により大きな被害が発生した、あし原町のあし原公園には、東海豪雨水害之碑があります。碑は、発生翌年の平成13年に被災者らにより建てられたもので、「東海豪雨から学んだ多くの教訓を忘れず、語り継いでいくことが、使命であると考えている」と刻まれています。

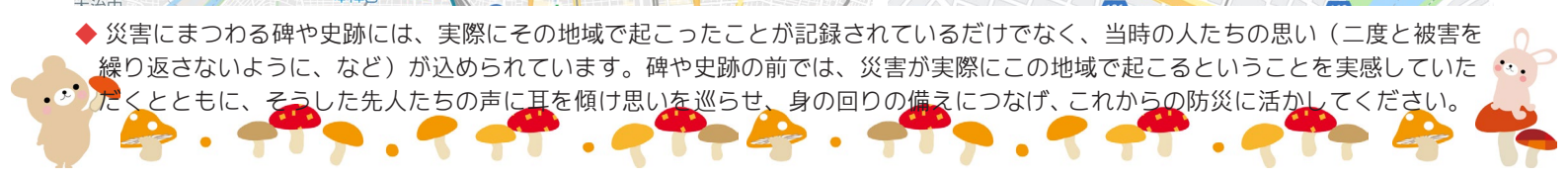
今年も7月に、九州地方を中心に、球磨川の氾濫など大規模な豪雨災害が発生しました。近年、線状降水帯による短時間集中豪雨が各地で頻発しています。大雨による災害をあらためて身近なこととして考え、いざというときに備えて、避難行動を意識しておきましょう。



東海豪雨水害之碑
国土地理院 HP より



◆ 災害にまつわる碑や史跡には、実際にその地域で起こったことが記録されているだけでなく、当時の人たちの思い(二度と被害を繰り返さないように、など)が込められています。碑や史跡の前では、災害が実際にこの地域で起こるということを実感していたかとともに、そうした先人たちの声に耳を傾け思いを巡らせ、身の回りの備えにつなげ、これからの防災に活かしてください。



◆あし原公園周辺には…

●^{おおのぎ}大乃木（大乃伎）神社

所在地：名古屋市西区大野木

交通：地下鉄鶴舞線「庄内緑地公園」駅 東約 1.2km

大乃木神社は庄内川右岸堤内地に鎮座しており、たびたび洪水に見舞われています。



拝殿は、明治 24(1891)年濃尾地震で損壊し、その後明治 32 年に大修理が行われています。

●^{だいえいじ}大永寺

所在地：名古屋市守山区大永寺町 交通：名古屋市営バス「二城小学校」停 東 200m

「守山市史」によれば、明治 24 年濃尾地震では伽藍が倒壊し、位牌堂のみが残りました。また昭和 19 年昭和東南海地震では、庫裡が倒れ、本堂の柱がいざった（移動した）との記録が残されています。

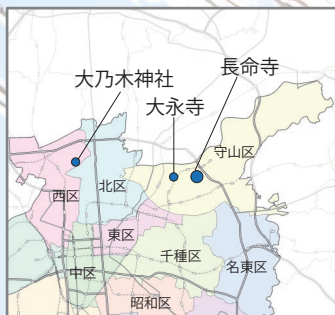


●^{ちようめいじ}長命寺（濃尾震災慰霊碑）

所在地：名古屋市守山区白沢町

交通：名古屋市営バス「牛牧住宅」停 北 400m

明治 24 年濃尾地震により、長命寺は観音堂が全壊したほか、昭和 19 年昭和東南海地震でも、建具等損傷の記録が残されています。境内には「尾濃 震災死亡人記念碑 両国」と記された、濃尾地震の碑もあります。



◆詳細な地図は『歴史地震記録に学ぶ 防災・減災サイト』(<http://www.pref.aichi.jp/bousai/densho/index.html>)をご覧ください。

★あいち国際女性映画祭

あいち国際女性映画祭は、世界各国・地域で活躍する女性監督による作品、女性に着目した作品を集めた、国内唯一の国際女性映画祭です。「あいち国際女性映画祭 2020」は 9 月 3 日から 9 月 6 日までの 4 日間、主会場の愛知県女性総合センター（ウィルあいち）と、サテライト会場のミッドランドスクエアシネマで開催されます。

25 回目となる今回は、日本初公開 4 作品、愛知初公開 7 作品を含む全 30 作品が上映され、国内の女性監督によるトークイベントや、シンポジウム「杉原千畝生誕 120 年 命のビザ発給 80 年」の開催、第一作の公開から 50 周年を記念した作品「男はつらいよ お帰り 寅さん」の上映などの企画が用意されています。



あいちの農産物

とうがん（冬瓜）は、冬まで貯蔵できる瓜の意で、夏野菜の定番です。成分の 96% は水分で、中華料理の



愛知県園芸農産課 HP より

材料としてよく使われ、近年では、低カロリーのダイエット食としても注目を集めています。日本では平安時代から栽培の記録があり、愛知県には昭和 45 年に沖縄から「琉球とうがん」が導入され、栽培が増えました。現在、全国的に流通しているのは青い皮の琉球とうがんで、愛知県は沖縄県に並ぶ産地となっています。

●ブレイクタイム●

♪新川洗堰

江戸時代、庄内川は氾濫時に名古屋城下側への浸水被害を軽減するため、右岸側（北側）の堤防が低く造られていました。天明 4（1784）年から天明 7 年にかけての治水工事・天明の改修では、新たに庄内川の北に新川が開削され、庄内川の北堤を 40 間（約 73m）にわたって切り下げ洗堰を作り、庄内川の増水時には新川へ分流し、伊勢湾へ流れるようにしました。

新川への分流箇所は普段は洗堰緑地として利用されており、堤防道路を走ると、洗堰部分の堤防が切り下げられているのがわかります。（google earth でも確認できます。）



中部災害アーカイブス HP より

◆この地域の災害に関する碑・史跡、資料・体験談集、地域に残る古文書、研究資料、郷土史研究者・団体などの情報がありましたら、gensaisan2014@gmail.com まで情報をお寄せください。

◆県内の歴史地震記録をホームページで紹介しています。各地の碑や史跡等にご興味をお持ちいただけましたら、『歴史地震記録に学ぶ 防災・減災サイト』(<http://www.pref.aichi.jp/bousai/densho/index.html>) をぜひご覧ください。

（発行：減齋の会・名古屋大学減災連携研究センター 2020 年 9 月）

